

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 見附市立見附小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒954-0052

新潟県見附市学校町1-3-89

E-mail misho@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/

幼児児童生徒数 男子 281名 女子 261名 合計 542名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

見附小学校では、ユネスコスクールに認定された平成22年度より総合的な学習の時間や生活科の活動計画に「花育」を位置付け、「人や自然との関わり」「生命あるものへの優しい気持ち」を大切にした学習活動を進めている。平成29年度は、「前庭及び花樽プランターを活用した『見小っ子ガーデン・マイフラワープロジェクト』」を柱として、「花育」を成功させるために、「全校フラワー集会」と「フラワータイム」を実施し、一層の意欲の高まりを図った。

1年生は、朝顔とチューリップを育てた。2～4年生は、各学年で相談し、複数の苗の中から学年で植える苗を1種類選び、育てた。5年生は、複数の苗から自分が植えたい苗を一つ選び植えた。同じ種類毎に、バランスを考えて花壇に植えた。6年生は、花樽のデザインをグループで相談し、絵で表した。その絵を基に苗を選び、花壇に植えた。中央を背の高い苗にして、その周りにグループで決めた苗を植えていく方法は、共通にしている。

飼育・栽培委員会も専用の花壇に、自分たちで植えたい苗を選び、大きくなって広がることをイメージながら配置を工夫した。

今年度は、まちなか東コミュニティと連携し、花壇作りや畑の畝作りを行った。昨年度に比べ、花や野菜に詳しい方が多く来られ、子どもだけでなく、教員や保護者も勉強になった。子どもと地域住民との異年齢交流ができた。



まちなか東コミュニティとの交流



レイアウトの絵を見ながら植栽

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(月1回, 昼食休憩と5限の間に15分間のフラワータイムを設定した。)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特にありません。

②ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

生活科・総合的な学習の時間として位置付けている。年度当初に学校運営協議会を開催し、目指す子どもの姿を学校と地域とで共有している。年度末に、学校評価会議を実施し、目指す子どもの姿や身に付けるべき資質・能力に照らして成果と課題を明らかにしている。また、生活科や総合的な学習については、学校運営協議会や地域学校協働本部の協力を得ながら、地域と連携した取組を推進している。

② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

月曜日の放課後が教材研究タイムとして位置付けている。その時間に、活動内容の共通理解や地域へのフィールドワークを行っている。各学年の指導計画に基づいて、計画的に取り組むと共に、指導計画の修正を行い、次年度に引き継いでいる。

③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

年度末に実施している学校評価会議で、目指す子どもの姿を観点として活動の評価を行っている。このことにより、職員自身が活動の価値を実感したり、新しいアイデアを出したりする姿が生まれた。

学校運営協議会で、学校評価会議の内容を検討している。地域の教育資源を提供したり、無くしてもよい活動の同意を得たりして、教育活動の具体的な改善につなげている。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

見附市花いっぱいコンクールに入賞し、その副賞としてのイングリッシュガーデンツアーに親子が参加した。子どもたちの花を育てることに対する意欲が高まった。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

まちなか東コミュニティ(地域住民による自治組織)との連携を図ることができた。次年度、まちなか西コミュニティとの連携を図る予定。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

特にありません。

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域住民が、子どもの成長のために、子どもに働き掛ける姿が多く見られるようになった。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

「見小っ子ガーデン マイフラワー プロジェクト」

1 教育課程の大綱

教育目標
自ら学び、進んで鍛え、共に伸びる見小の子

期待する人間像が内包する資質
①生命への畏敬の念

行動特性
畏敬・社会性 命あるものをいつくしみ、自然や人間を大切にする。

2 ねらい（教育計画 栽培活動より）

花を大切に育てる活動を通して、花や緑に親しみ、花を愛好する子どもを育てる。

3 活動内容

< 1, 2 年生は中庭を担当 >

- 1 年生 中庭に一人一鉢のアサガオ栽培
- 2 年生 中庭の白い花壇

< 3～6 年生は前庭・花樽を担当 >

- 3 年…昨年と同じ（ヒマワリとハウセンカの後、次の花を植える）
- 4 年…前庭の左サイド
- 5 年…前庭の右サイド
- 6 年…花樽（43 個）
- 飼育栽培委員会…前庭の中央（配給される花など）